

令和
3年度

万里の松原に親しむ会

団体紹介

平成13年に設立、今年20周年を迎えました。

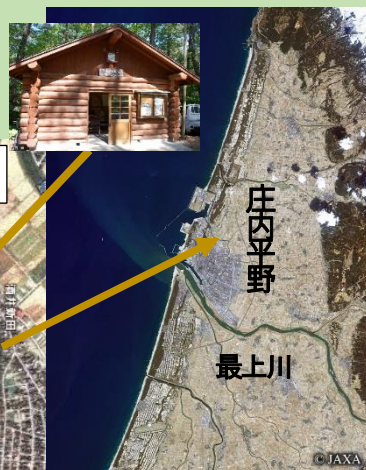
現在は、個人会員100名、団体会員15団体が所属

今年、コロナ騒動下でも活動はできたが、交流会ができない

- ・会員独自の除草刈り・枝打ち・剪定などの松原整備（実施）
- ・会結成20周年は、記念植樹、記念誌発行、工夫した祝賀会
- ・次代を担う児童・生徒達への支援（時期をずらして実施）
- ・地域への情報発信と会員相互を結ぶ、月刊の「短信まつば」と年1回の「広報まつば」を発行（計画通り発行）
- ・域内老健施設での「森の音楽祭」（高齢者対象のため中止）



酒田市街地の北端



庄内平野

最上川

結成20周年記念植樹
保育園児と一緒に

会員の海岸林整備



活動地（酒田市を拠点に）

吹浦から湯野浜まで33Kmに及び庄内砂丘には、海からの強風や潮風から住民を守るための先人たちが植林してきた海岸林が続いており、近年は津波被害にたいする軽減の役割にも注目されている。酒田市はその中位に位置しており、市街地の北端には市民の憩いの場にもなっている「万里の松原」の海岸林が広がっており、ここを拠点としながら、必要に応じて活動域を広げている。（ログハウスは、活動拠点となっているフォレストパル）

小学生の春の自然観察



小学生の海岸林バス研修



児童・生徒の活動を支援

保育園1園、小学校2校、中学校1校、高等学校1校、時に大学の、児童・生徒・学生の海岸林の体験活動を支援してきている。この活動を通して、次世代に海岸林の重要さと、守り育てる事の大切さを伝えていきたいと考えている
例年、年間延べ15日前後の支援をしている。コロナ下でも、今年は活動が戻りつつある。

西荒瀬保育園児とともに



中学生の枝打ち体験支援



小学生の秋の自然観察



成果

昨年来のコロナ下でも、万里の松原を拠点に海岸林での活動を、他団体との協働や学校支援も織り交ぜながら、年代を超えておこなっていることで、海岸林の重要さを次世代に伝えてきた。また、「短信まつば」と「広報まつば」で活動を発信し、会員、学校、地域住民、関係機関などとの協働関係が定着してきた。